

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
本社入札監視委員会（第20回定例会）審議概要

開催日及び場所		令和6年7月26日（金） 東京工事事務所 5階会議室	
委員		村瀬均（弁護士） 谷和夫（大学院教授） 西村万里子（大学教授）	
審議対象期間		令和5年10月1日～令和6年3月31日	
役務	抽出案件	件数 1件	(備考)
	一般競争入札方式	本社発注者支援業務 R5（工事安全推進データ整理）	
物品等	抽出案件	件数 1件	
	一般競争入札方式	建設予算管理システムの開発及び運用保守業務	
高落札率契約	抽出案件	件数 1件	
	一般競争入札方式	職員採用に係る適性検査実施・採点業務（単価契約）	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等		意見・質問	回答
		別紙のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容		な し	

別紙（役務）

	意見・質問	回答
1	<p>一般競争入札方式 「本社発注者支援業務 R5（工事安全推進データ整理）」</p> <p>審議対象案件について</p> <p>① 1者応札となっているが、資格要件が厳しいのではないか。</p> <p>② 資格要件が理由で無いとすると、1者応札になった要因は何だと思われるか。</p>	<p>① 当機構では、発注者支援業務においては、業種ごとに一律の資格要件を定めており、本案件のみの特別な要件は定めていない。業務履行上、最低限必要な要件のみを課しており、厳しい要件であるとは考えていない。</p> <p>② 履行期間が、年度末までの4か月間と短期間であったためだと思われる。次回は期間を考慮した発注を行いたい。</p>

別紙（物品等）

	意見・質問	回答
1	<p>一般競争入札方式 「建設予算管理システムの開発及び運用保守業務」</p> <p>審議対象案件について</p> <p>① 1者応札となっているが、複数の参加者がいることが望ましく、再公告にあたって、配置予定責任者等の保有資格要件を緩和したというが、適切な緩和措置であったのか。</p> <p>② 結果として1者応札だったが、受注者以外に受注できそうな者はいるのか。</p>	<p>① 保有資格の設定にあたっては、情報セキュリティや品質マネジメントといった専門的な分野であることから、コンサルタントの助言を得ながら設定したため、適切であったと考える。</p> <p>② 初回の公告時には資料をダウンロードした者は19者あったため、複数者の応札は期待できると考える。しかしながら、現在の業界の状況として、人手不足が著しく、企業として受注できる能力はあっても人員の体制を組めないことが多いとのことで、時節によっては、応札できる者は限られるものと思われる。</p>

別紙（高落札率契約）

	意見・質問	回答
1	<p>一般競争入札方式 「職員採用に係る適性検査実施・採点業務（単価契約）」</p> <p>審議対象案件について 競争参加資格にて、</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 年間 10 万人以上の適性検査の実績 ② テストセンターを設置した実績 ③ 各地方につき最低 1 か所ずつのテストセンター設置 <p>をそれぞれ求めている理由は。</p>	<p>以下のとおりと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 10 万人以上が受検した実績があれば、適性検査の信頼性及び妥当性が担保されると判断されるため。 ② なりすまし防止の観点から必要と考えられるため。 ③ 全国各地の受検者を想定しているため。

別紙（その他）

	意見・質問	回答
1	<p>役務、物品等の全体審議</p> <p>なし</p>	
2	<p>高落札率契約の全体審議</p> <p>なし</p>	
3	<p>一定規模以上の取引関係を有する法人との契約の全体審議</p> <p>なし</p>	
4	<p>その他</p> <p>なし</p>	